



# 実現に向けて

人類が安定してこの世界に暮らし続けるために2030年までに達成すべき具体的目標「SDGs」。銅業界がいま取り組んでいる「SDGs」を業界を構成するフィールドごとに紹介したい。

## 日本鉱業協会における カーボンニュートラル社会に向けての活動



### 非鉄金属の果たす大きな役割

**SDGs** 社会の実現に向けて各産業界ではさまざまな取り組みが鋭意実施されはじめている。

日本鉱業協会では、**SDGs** 社会実現への第一歩として、非鉄金属の果たす大きな役割を認識し、社会的課題となっている「カーボンニュートラル」実現のため施策に積極的にまい進している。

そのひとつが2021年6月「2050年カーボンニュートラル実現に向けた非鉄金属業界の取り組みについて」と題した基本方針の策定である。その大要は、非鉄金属業界のこれからとして、資源の開発やリサイクルに積極的に取り組み、「カーボンニュートラル」に欠くことのできない非鉄金属材料の安定供給を通して**SDGs**に寄与していくということである。なお、2050年に向けた中途目標として、産業部門における2030年度のCO<sub>2</sub>排出量を2013年度比で38%削減することを掲げている。



### 優先すべき3つのテーマ

この基本方針を実現するために、協会内に「カーボンニュートラル推進委員会」と「革新的技術開発ワーキンググループ」を設置。協会会員である非鉄大手企業8社に加え、学識経験者、経済産業省資源エネルギー庁、独立行政法人エネルギー・金属鉱物資源機構などが参加し議論を重ねている。現在では非鉄金属各社が作っている製品がどのようなカーボンフットプリント(製品のライフサイクル全体を通じたCO<sub>2</sub>排出量)になっているかを調査する研究会も鋭意活動中である。

この活動を踏まえ、「カーボンニュートラル」実現のため5つの対策領域と22のテーマを挙げ、そのテーマの中から優先して取り組む3つのテーマを設定している。それが

1. バイオ、廃プラ等脱炭素に資するエネルギー源を利用した非鉄金属リサイクル促進技術の開発
2. 製錬所等における徹底した省エネ実現のための熱電素子、新エネルギーストレージ材料等の開発
3. 非鉄金属リサイクルを念頭に置いたマテリアルフロー分析(MFA)とライフサイクル・アセスメントのデータベース確立と発信である。



### 「メタルファクトリー」の新しい展開

非鉄金属業界の動向を伝える場として東京千代田区・科学技術館4階に常設展示している「メタルファクトリー」でも、こうした動きを反映し、このほど新たな展示として「クイズカーボンハンター」が登場した。

このクイズはカーボンニュートラル社会実現のために使われている非鉄金属についてデジタルパネルを操作し、楽しみながら学べるコーナーとなっている。

日本鉱業協会の**SDGs** に向けての活動は、幅広くその輪を広げている。



メタルファクトリーの展示に「カーボンハンター」が新登場